

私たちのいのちと暮らしを支える箕面の森林

水をたくわえ洪水を防ぐ

山くずれを防ぐ

二酸化炭素を吸収する

空気をきれいにする

水をきれいにする

生き物のすみかとなる

伝統文化を守る

レクリエーションややすらぎの場となる

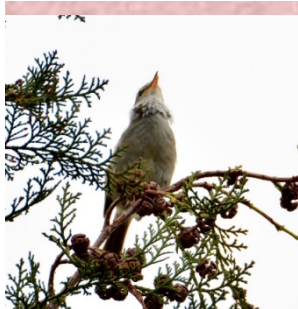
林産物を生産する



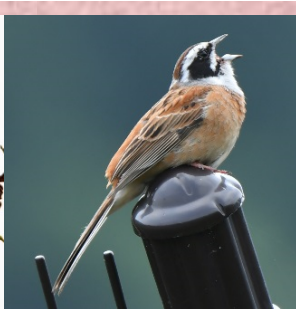
地球温暖化を防止する、水をたくわえ洪水を防止・土砂災害を防止する、レクリエーションの場、動植物の生活の場となる、持続可能な資源を生産するなど、森林が持つ重要な役割がますます注目されています。

多様な生き物が暮らしていけるように、箕面の森の豊かな自然を守りましょう！

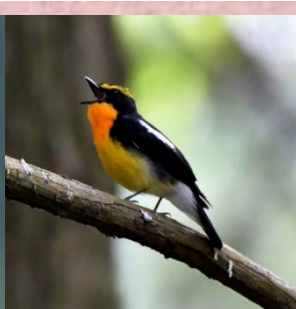
新緑が美しい季節。木々が芽吹き、虫たちの活動が始まると、箕面の森では鳥たちがパートナーを見つけるために美しくさえずります。つがいが成立すると、たくさんの虫たちをエサとして、ペアで協力して子育てをします。たくさんの虫たちが生息するためには、虫たちのエサとなる多種多様な植物が必要です。野鳥や昆虫など多様な生き物が暮らしていくためには、森の豊かな植生や環境が守られていることが大切です。



ウグイス



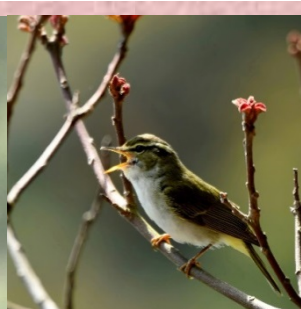
ホオジロ



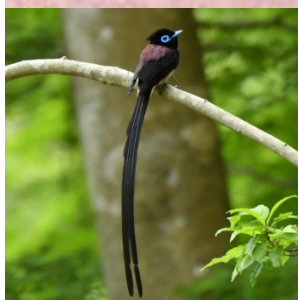
キビタキ



オオルリ



センダイムシクイ



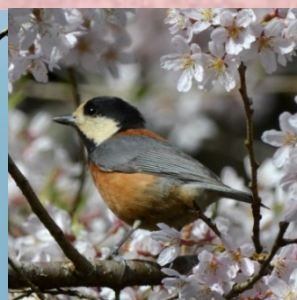
サンコウチョウ



イカル



メジロ



ヤマガラ



シジュウカラ

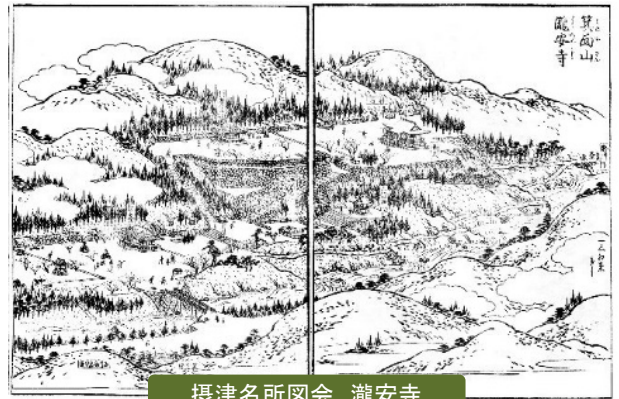
森林が持つ公益的な機能を発揮させるための仕組みが必要

箕面の山は、中世にかけて稲作が始まり、森林を切り開きながら農地を広げ、周辺の森林からは燃料や建築資材、田の肥料などの採取が行われていました。

江戸時代には、勝尾寺と瀧安寺、幕府が山林を所有していましたが、入会山(いりあいやま)として、寺院や村落を単位に「自治」が公認され、「共同利用」されていました。

山林の権利とは山・樹木・草の利用・採取権であったのを、明治になると山林の「地租改正」を急ぎ、共有地でも納税のために個人の名義人が決められ、現在にいたっています。

近年、山林の経済的な価値はなくなりましたが、公益的な森林の機能を発揮させる新しい仕組みづくりが求められています。



摂津名所図会 瀧安寺

再発見！箕面の山と人との関わり

山は、ひと昔前まで、農業生産や日常生活、さらにはさまざまな民俗行事が行われるなど、精神的にも生活にとって必要不可欠なものであり、長い間、人々は山と密着した生活を送ってきました。

石丸の愛宕社の常夜灯には、元禄16年(1703年、今から318年前)と刻まれており、古くから信仰の対象になっていたことがうかがえます

箕面の村では、人々を火災から守るため、愛宕神社から護符をいただいて持ち帰り、愛宕の祠に納めてお祈りしています。それぞれの村ごとに防火の神様が村を見守っています。村全体を見渡せる山麓部、山の尾根にある五つの愛宕社を紹介します。



平尾(現在の箕面市箕面地区)の愛宕社



白島の愛宕社



坊島の愛宕 ※台風で常夜灯が倒壊



石丸の愛宕社 ※石扉の中には護符



外院の愛宕社 ※地藏菩薩を安置

北摂地域では多くの愛宕社が祀られています。池田の「がんがら火祭り」は、江戸時代から続く由緒ある祭りです。

新しいまちづくりとして「かやの中央」でおこなわれる「まんどろ」火祭り、昨年はコロナ過により中止となりましたが、伝統行事の復活が期待されます。

※みのお山麓保全活動の助成事業

素盞鳴尊神社(粟生間谷地区)には、山仕事の守り神としての「山の神」が移転され祀られています。



山の神 ※素盞鳴尊神社の境内に安置



「山の神」移転の立て札

古くから粟生間谷地区では、春から秋にかけては米作りを中心に農業を、冬には山に入って炭焼き、薪づくり、芝刈りなどを行ってきました。

「山の神」は地元の守り神として、山仕事の無事を祈願するために祀られていた石碑です。

この「山の神」、山の尾根に鎮座していましたが、彩都(国際文化公園都市)の開発により、当神社に移転され祀られています。

「こもれびの森」でヤマザクラやコバノミツバツツジなど、245本の苗木を植樹

昨年のイロハモミジ53本、どんぐりがなる木30本の植樹に続いて、今年は3月13日にコバノミツバツツジ50本、ヤマザクラ50本、ムラサキシキブ37本、ガマズミ・カマツカ各24本などの他、コナラ60本、計245本を植樹しました。植樹した木が大きくなるのは何年も先ですが、数年後に花が咲くのかとても楽しみです。



眺望が美しい「こもれびの森」



コバノミツバツツジの苗木

2017年10月の台風21号で大きな被害を受けた「こもれびの森」(箕面市有林・生活環境保全林)で、今年も市民団体が中心になって、森の整備や植樹活動を行いました。

昨年、防鹿ネット内に植樹したイロハモミジ(高木)の間に、コバノミツバツツジ(低木)を購入し植栽しました。

ヤマザクラは、将来、花見を楽しんでもらうために防鹿ネット外のハイキング道沿いに植栽し、単木用の防鹿ネットを購入して取り付けました。

オケ原林道沿いには、ムラサキシキブ、ガマズミ、カマツカを植樹しました。

いずれもシカが好きな樹木なので、防鹿ネットを購入して、取り付けました。

コナラは防鹿柵内に30本、柵外に30本を単木用のネットを取り付けて植樹しました。

最後に、業者に水タンク車を持って来てもらい、水やりをしました。ホースが届かないところはペットボトルで水やりをしました。

※コナラ、ムラサキシキブ、カマツカ、ガマズミの苗木は、住友ゴム工業(株)から無償で提供を受けました。



コナラ30本を植樹(防鹿柵内2ヶ所)



ヤマザクラの苗木



ムラサキシキブ・カマツカなどを植樹



水タンク車からペットボトルに給水



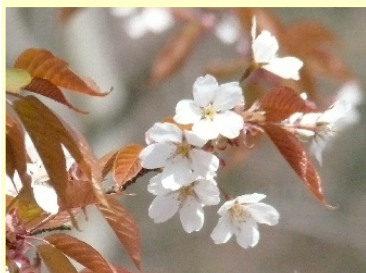
ホースで植樹したコナラに水やり

★一部植栽(ヤマザクラやコバノミツバツツジ)を業者に委託した費用、防鹿ネットなどの資材購入など、植樹活動にかかわる資金は、公益財団法人 夢&環境等支援宮崎記念基金からの助成金50万円の他に、山麓保全委員会への寄付金や箕面の山 災害復興募金を活用させていただきました。

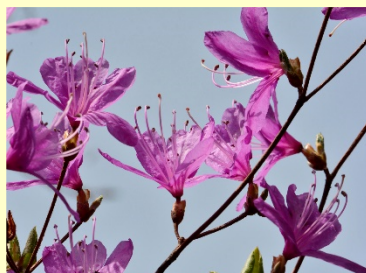
★ヤマザクラは、箕面市を通じて、公益財団法人日本さくらの会から「宝くじ桜」事業で寄贈していただきました。

★植樹活動には財源が必要です。山麓保全委員会や箕面の山 災害復興募金にご支援をお願いします。

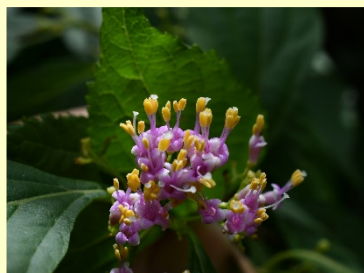
植樹した樹木の開花イメージ ※は開花時期



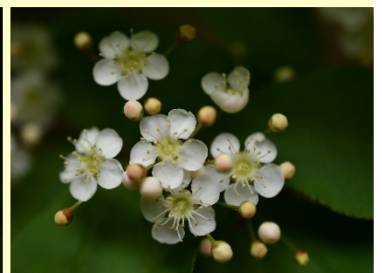
ヤマザクラ ※4月



コバノミツバツツジ ※4月



ムラサキシキブ ※7月



カマツカ ※5月

箕面の山で活躍！ 山林整備ボランティアの養成講座～4月24日(土)開催～



ボランティア養成講座を受けて、箕面の山で楽しく活動しませんか！
初めての方でもベテランの山林整備サポーターと一緒になので安心です。
養成講座を修了すると、山麓部の山林で、倒木の処理や間伐など、山の手入れを行うボランティアとして活躍することができます。

山林整備サポーター ボランティア養成講座

☆2021年4月24日(土)午前10時～午後3時ごろ 雨天順延5月22日(土)

☆集合…箕面市栗生外院5丁目「皿池公園」、午前9時45分に集合

☆午前…基本的な技術や安全知識を学ぶ講義

午後…近くの民有林で、倒木処理や間伐を体験

※参加費は無料、事前申込が必要(先着10名)、秋にも開催予定

《山林整備サポートとは》

山林所有者が高齢だったり、遠隔地に住んでいるなどの理由で山林の手入れが出来ない場合に、山林所有者からの要請を受けて、倒木の処理や間伐など、山の手入れを行うボランティアを山麓保全委員会を通じて派遣する仕組みです。

毎年、ボランティア派遣の要請件数が増えています。たくさんの要請に応えるために、山林整備サポーターとして活躍していただける方を募集しています。

※主には冬の活動ですが、春にも数回予定。

2020年度の実績…49件の山林所有者からの要請を受けて全49件の山林整備を実施

平日に活動する「みのお里ぶら」チームは36件の山林に延べ315人、土曜日に活動する「箕面の森のきこり隊」チームは10件の山林に延べ136人が参加しました。その他、「箕面の山パトロール隊」「箕面マウンテンバイク友の会」「地元の水利組合」の方も参加していただき、全49件の整備を行いました。

第17回 みのお森の学校 受講生を募集！～9月19日(日)から開催～

みのお森の学校 人と自然の入門講座

☆2021年9月19日(日)から全11回、土日に開催

☆定員:20名(先着) ☆受講料:13,000円(11回)

森や自然のこと、もっと知りたい学びたい人のための実習と講義の連続講座です。森を楽しむ新しい仲間にも出会えることでしょう。卒業生は箕面の森で活躍しています。

※特典:受講生に野鳥(カワセミ)のブローチを進呈



野鳥のブローチ



5月30日(日) 山麓(里山)樹林管理ガイドラインの意見交換会を開催！

2007年に山麓(里山)の樹林管理ガイドライン(全92ページ)を作成しましたが、近年、増えてきたニホンジカによる食害や気候変動による自然災害の増加などの要因により、改訂が必要になっています。

山麓保全委員会では、このような環境変化に対応して、だれでも読みやすく、理解しやすいガイドライン(全25ページ)の改訂版の作成をめざしています。

改訂版の概要を報告した後に、意見交換を行います。ご参加をお願いします。

☆2021年5月30日(日) 13時30分～15時(予定) ※定期総会後に開催

☆場所:箕面文化・交流センター(阪急箕面駅前サンプラザ1号館)地下多目的室

★定期総会:午前10時～11時50分(予定)

★2020年度の事業報告、2021年度の事業計画と予算、役員の改選など



NPO法人 みのお山麓保全委員会

〒562-0001箕面市箕面6-3-1 みのおサンプラザ1号館2階211号室

電話&FAX:072-724-3615 携帯電話:090-1133-3615

メール:yama-nami@yama-nami.net

ホームページ:www.yama-nami.net(検索:山なみネット)

* 箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」

